

# 日本作業療法士連盟ニュース

2012 SUMMER



左より 川本愛一郎 幹事・学修部長 比留間ちづ子 副会長  
谷隆博 副会長 長井陽海 関東・甲信越ブロック幹事

作業療法の未来のために

会員拡大に邁進中です。

会員数

2012年7月31日現在

819名

発行日:平成24年7月31日

発行元:日本作業療法士連盟事務局  
〒583-0021

藤井寺市御舟町1-63藤井寺オフィスビル2F

電話 072-931-7887

FAX 072-931-5200

第46回 日本作業療法学会

◇ 会 期

平成24年6月15日(金)～

6月17日(日)

◇ 会 場

シーガイアコンベンションセンター

(宮崎県)

第46回日本作業療法学会において、日本作業療法士連盟のブースを設置し、会員確保のための活動を行いました。

ブース内では連盟の意義や(一社)日本作業療法士協会との役割分担について役員が語るプロモーションビデオが上映され、ブース前では役員や会員がリーフレットを配布して学会参加者に入会を呼びかけました。

連盟の学会参加は今回で三回目となりましたが、今回も活動参加者は連盟のイメージカラーである水色を基調としたTシャツに



身を包み、プロモーショングッズのうちわを手にも、一体感をもって会員を増やすために励みました。

『連盟の必要性とは?』

ブース前では「作業療法士の国会議員は必要か、不必要か」とのテーマで学会に参加している作業療法士に対してアンケートもおこないました。結果は、作業療法士の国会議員が「必要」という意見が圧倒的に多く、作業療法士の国会議員の存在を求める作業療法士が多数いるという事実が明らかとなりました。



日医、日看協、PT協会など他の医療関連の職能団体は、それぞれの業界政治連盟と一体となつて国会議員を輩出し、政治力でもって立法機関に働きかけ、制度・報酬等に反映させています。

日本作業療法士連盟としても、(一社)日本作業療法士協会がおこなっている学術的研鑽や政策提言を積極的に支持し、政治力Ⅱ政権与党に対する発言力を強め、生涯安心して作業療法士の職に就けるよう、社会的地位の向上を目指して作業療法士の国会議員を輩出する必要があります。今回のアンケートによると、多くの作業療

法士が、自分たちの代表としての国会議員の必要性を感じています。しかしながら、どうすれば輩出できるのか、そのために自分自身はどう行動すればよいのかがわからないとおっしゃる方も学会会場には多くおられました。そういった方々に連盟の活動の意義やこれまでの成果を直接お伝えできた学会での活動は、非常に有意義なものとなりました。

『当事者(性)の時代』

ニッコロマキヤヴェツリ (イタリア政治家思想家)

『自分で自分を守らない者を誰が助けるのか?』

ブースでの入会の呼びかけだけでなく、二期二日目には日本作業療法士連盟幹事・学修部長である川本愛一郎氏による、出馬さながらの熱のこもったプレゼンテーションも行われました。「自分で自分を守らない者を誰が助ける気になるか」とのマキヤヴェツリの言葉を引用して、会場に参集した作業療法士に政治活動の必要性を投げかけました。

そして、元水俣市議会議員の川本氏の父・故川本輝夫氏の選挙経験も話され、政治活動がより具体的にイメージできるプレゼンテーションとなりました。



松岡広隆衆議院議員ご来訪

◇日時：平成24年7月18日  
◇場所：日本作業療法士連盟事務局

民主党社会的包摂プロジェクトチーム事務局長代理であり、自殺対策を担当されている松岡広隆 衆議院議員が日本作業療法士連盟事務局をご来訪され、谷隆博 副会長と関本充史 事務局次長と会談されました。

現在、日本国内の自殺者は年間三万人を超え、特に二十代〜三十代の若年層の増加が顕著なのだそうです。自殺は「健康問題」や「経済・生活問題」「家庭問題」など、さまざまな動機が複合して起こると言われており、その対策にあたって一人ひとりの背景を理解することが重要となってきます。

そこで、地域リハビリテーションにおける精神科領域の作業療法士の活動が自殺対策に有効なのではないかといったことなど、さまざまな意見を交換させていただきました。

地域の精神科領域の作業療法では薬剤の服用などと併用する場合もあり、他職種との連携が大切になってきます。しかし、地域でのアウトリーチはまだ始まったばかり。

自殺に陥りそうな深刻な悩みを抱えている人々の助けとなる対策と作業療法士のこれからの活動と発展に期待していきたいと思えます。



松岡 広隆 (まつおか ひろたか)  
昭和 57 年 2 月 25 日 生まれ。  
兵庫県尼崎市出身。  
平成 21 年に衆議院総選挙 比例代表近畿ブロック当選。現在、民主党社会的包摂プロジェクトチームで事務局長代理と自殺対策を担当している。

田野瀬良太郎 東京政経フォーラム

◇日時：平成24年7月24日  
◇会場：ANAインターコンチネンタル ホテル東京(東京都)

谷隆博 副会長と長井陽海 関東・甲信越ブロック幹事が参加いたしました。セミナーでは世界経済から端を発し、日本の社会保障についての話題が上りました。欧州・中国・日本の経済は密接に関係して

おり、医療・介護を含む社会保障は経済がなければ立ち行かないものです。今後、社会保障費をどのようにまかなっていくのか、作業療法士にとっても大切なこととなっております。



谷隆博 副会長と田野瀬良太郎 衆議院議員

平成24年4月22日～  
7月24日までの  
連盟活動一覧

- 4月22日  
協会・連盟 合同会議
- 5月26日  
「一般社団法人日本作業療法士協会」懇親会
- 5月27日  
鹿児島県士会 新入オリエンテーションにて勧誘活動
- 6月15日  
「第46回 日本作業療法学会」機器展示場  
ブース出展・勧誘活動

< 渉外部 >

- 5月14日  
田野瀬良太郎 関西政経フォーラム 参加
- 5月16日  
日本の福祉を考える会 第5回総会・第13回勉強会 参加
- 5月22日  
仙石由人と明日を作る集い 参加
- 6月18日  
第2回 松岡広隆 政経フォーラム 参加
- 6月19日  
「えとう せいいち」と明日を語る会 2012 Summer 参加
- 7月18日  
松岡広隆衆議院議員 連盟事務局 ご来訪
- 7月24日  
田野瀬良太郎 東京政経フォーラム 参加



## 日本作業療法士連盟への 寄付のお願い

2012 年度も昨年度に引き続き会員募集活動を継続して参りますが、より多くの方にご賛同・ご参加頂きたいという思いから、年会費引き上げは予定しておりません。

日本作業療法士連盟の趣旨にご賛同頂ける多くの方から寄付を募りたいと存じます。単位金額の設定等は特にございませんが、ご都合に応じ、壱万円・参万円・伍万円を枠としてご検討頂きますと幸いです。さらなる発展を目指す思いにご賛同頂きまして、格段のご支援・ご協力を賜りたくお願い申し上げます。寄付を頂くにあたっての詳細は下記 URL をご参照ください。

URL <http://www.ot-renmei.jp/>

### 事務局からのお知らせ

#### ～2012 年度年更新のお手続はお済でしょうか？～

- ◇ 2012 年度年会費（2,000 円）をお振込いただく際は、お手数ですが**本連盟会員番号と登録いただいているご氏名**を記載していただきますよう、お願いいたします。  
（例：99999-R レンメイ タウ）
  1. 郵便払込→専用の払込取扱票にて振込  
※継続会員の方には払込取扱票を事務局より郵送いたしました。まだお手元に届いていない方は、お手数ですが事務局までご連絡ください。
  2. 銀行振込
    - ①ゆうちょ銀行  
ゆうちょ窓口からお振込の場合・・・口座記号・番号 00960-3-180690  
他金融機関窓口からお振込の場合・・・099 店 当座 0180690 口座名義人／日本作業療法士連盟
    - ②三井住友銀行  
藤井寺支店 普通 No. 3826388  
口座名義人／日本作業療法士連盟 会計責任者 ツジオカカツシ
- ◇ 情報発信時（郵送・メール送信等）に、ご入会時の登録内容について事務局よりお問い合わせする場合がございます。
- ◇ 登録情報の変更や退会されます際は、事務局（☎072-931-7887）までお電話にてご連絡ください。  
**※2013 年度更新時より、年会費徴収が口座振替となります（継続会員の方のみ）詳しくは別紙参照**

#### ★「写真投稿」のお願い★

**あなたの撮った写真が、連盟ニュースの表紙を飾ります！**

「作業療法に関する一場面を撮った写真」をはじめ、「暮らしへの慈しみ」「活気あふれる生活」など、支え合うことの大切さや明日への希望を表現した写真をどしどしご投稿ください。写真についてのコメントを一緒に付けていただいても結構です。

投稿先：日本作業療法士連盟 広報部 担当者：岩崎  
氏名・連絡先を添えて右記まで。 [info@ot-renmei.jp](mailto:info@ot-renmei.jp)

